

# あにわにわ 通信

## 第19号

「あにわにわ」とは、ニュージーランドのマオリ語で「虹」を意味しています。

2012.11.20

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

### 子育てひろば「あい・ぽーと」

住所：107-0062 東京都港区南青山 2-25-1

電話：03-5786-3250 FAX：03-5786-3256

E-mail：[info@ai-port.jp](mailto:info@ai-port.jp)

URL：<http://www.ai-port.jp>

### 全国版子育て・家族支援者養成講座事務局

住所：106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509

電話：03-6657-8539 FAX：03-3499-8539

E-mail：[station@ai-port.jp](mailto:station@ai-port.jp)

URL：<http://www.ai-port.jp>

法人代表理事・恵泉女学院大学大学院教授

大日向 雅美

今年もあとひと月余りとなりました。この一年のお力添えに心から感謝を申し上げます。

本号は今秋千代田区で開始した家庭的保育の特集としました。また各自自治体から支援者の皆様の活動への期待も寄せていただきました。この八月に子ども子育て関連三法案が成立し、これから地域の子育て・家族支援は大きく変わろうとしています。皆様の益々の活躍をお祈りしております。

港区 人権男女平等参画担当課長

保志 幸子

大人も子どもも生き生きと！

「熱心に保育していただき、子どもたちが『楽しかった』と戻ってきたので安心したとの声がありました」「事業場所の隣室であったため、大きい音の鳴るおもちゃを避ける

など対応して頂きました」「子どもが一時

間単位で入れ替わりましたが、スムーズにご対応くださいました」「これは、区の一時

保育実施後の、各所管報告書の抜粋です。

港区は、平成十六年四月に「港区男女平等参画条例」を施行し、すべての人が性別にとらわれず自分らしく豊かに生きることができる社会を実現するため、様々な施策を展開しています。その中でも、子育て中の方が、講演会や説明会に参加しやすい環境を整備し、また、審議会等の委員として区政に参画していただく機会を確保する目的から、すべての機会に一時保育を実施しています。

子育て・家族支援者の皆さんには、この制度を支える専門性を持った一時保育者として、日ごろからご尽力いただいています。心から感謝しております。皆さんの仕事ぶりは、子どもの目線を大事にし、各保育環境に柔軟に対応してくださるという、大変

温かい丁寧なものです。保護者にとって大切なしくみであると同時に、子どもたちにとっても、親以外の大人との大切な出会いの場となっています。

あい・ぽーとの皆さん、これからも、かけがえのないすばらしいパートナーとして、港区の子育てと男女平等参画を支えていってください。どうぞよろしくお願いいたします。

浦安市 子ども部子ども家庭課

本田 泰代

講座を始めて七年、育てた子育て力は、確実な歩みを見せてくれます。

相談員として子育てに関する相談なら何でも受け、ワンストップサービスを実践している子育てケアマネージャーはその一つです。敷居が高いと言われがちなの市の相談業務ですが、養成講座で一般の方を養成したことや、相談室を子育て支援センター内などに設置したことが相まって、気軽に利用いただけるものとなりました。今では広く浸透し、多くの方に認知され相談を受けています。

また、認定者の方たちが結成した子育て支援団体の活動もその一つです。初めて立ち上がった「お助けネットくんべい」とは、あにわにわでも幾度かご紹介されているところですが、もう一団体「おやこの広場ほこほこ」も立ち上がりました。こちらは、サロン活動のほか、地域住民とコラボした新しい形の活動を行っています。地域の自治会活動としての子育てサロンを任せられ、自分たちが住まう地域外に溶け込み、自治会役員さんと協働運営しています。地域交流も

垣間見ることができ、とてもよい事業をしてくださっていると思っています。

人材養成は一朝一夕ではできないものといふことを実感しながら、この紙面を通し、これらのことを、「報告できることを大変うれしく思います。」

高浜市 子ども未来部子ども育成グループ

磯村 順司

高浜市では平成十二年度より家庭的保育事業を実施しており、平成二十四年度に市内四力所目となる家庭的保育を開設しました。これまでの三力所は市内の介護予防施設の一室を利用して運営しており、高齢者や地域の目に見守られたなかで保育を実施する環境という特色がありましたが、四か所目の家庭的保育は平成二十三年度に開設された子ども発達センターに隣接した場所に開設しました。子ども発達センターは臨床心理士や作業療法士等の専門職による相談支援等を実施しており、家庭的保育を利用される保護者がいつでも相談できるような環境にあることが特徴となっています。家庭的保育事業は待機児童対策という側面もありますが、家庭的な雰囲気での保育、小集団でのきめ細やかな保育等という家庭的保育が持つ特色を活かして、今後子どもや保護者にとって安心して利用しやすい事業であるよう努めていきたいと思っておりますので、そこに携わる家庭的保育者等の資質向上に「あい・ぽーと」様のご協力を得ながら進めていきたいと考えております。



## 千代田区家庭的保育室「あい・ぽーと」小さな家



千代田区 子ども・教育部子ども支援課長 依田 昭夫

千代田区では、「次世代育成支援後期行動計画」（平成21年9月策定）に関わるニーズ調査の結果、約5%の子育て世帯から「家庭的保育（保育ママ）」が必要であるという回答がありました。このような多様な保育の需要にこたえるため、「（改定）第3次基本計画」（平成22年9月策定）の中で「在宅保育など多様な保育」の一つとして「家庭的保育（保育ママ）」を位置づけ、整備をしていくこととなりました。また、平成23年度第2回定例区議会において、「家庭的保育（保育ママ）」の必要性を問う一般質問がなされ、区として事業化に向け取り組んでいくと答弁をいたしました。このような経緯から、平成24年度当初予算に事業費を計上し、本年度11月から「施設型家庭的保育事業」（定員5名、保育時間：月～金曜日（年末年始・祝日を除く）午前9時0分～午後5時0分）を実施することとなりました。

この事業は、区が行う研修を修了した家庭的保育者が、千代田区内に在住している保育に欠ける少人数の乳幼児を家庭的な雰囲気の中で保育するものです。将来的には、家庭的保育者のご自宅を開放していただくなど、地域の保育力を高めていく、先駆けとなるものと考えています。運営につきましては、区と子育て施策で連携していただいているNPO法人 あい・ぽーとステーションが行います。

なお、本事業の実施場所については、それまで防災職務住宅（約60㎡）として使っていた集合住宅の一室を暫定利用しています。また、ふじみこども園を連携園とし、行事等への参加・交流を図ってまいります。今後とも認可・認証保育所を補完していく制度として拡充を図っていく予定です。

### 千代田区保育ママ補助者さんより

### スタッフより

スタッフの皆さんの力でスタート。そのお蔭で細やかで温かい保育が出来てる自分にわくわくしています。

小泉明子

ひとりひとりの成長に合わせて、ゆっくり・ゆったりと過ごす「小さな家」。笑顔が絶えない毎日が幸せです。

原田なな恵

コミュニケーションを大切に、明るく楽しく、元気いっぱい、笑顔いっぱい、遊びたいです。

内藤圭子

季節の風を感じながら、大きくなっていく子どもたちを見守っていききたいです。

岩本亜希子

一人一人の発達、その日の体調など、きめ細やか保育がはじまりました。子ども達と楽しく過ごせたらうれしいです。

大井安江

千代田区で初めてとなる家庭的保育室がオープンしました。千代田区とあい・ぽーとステーションとの協働で運営を行い、連携園のふじみこども園や地域の方々のご協力も頂きながら、地域に根付いた保育室になるように、子ども達と一緒に成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

室長 古閑祐樹

元気いっぱいの3人の子どもたちを迎え、あい・ぽーと小さな家がスタートしました。温かい雰囲気を大切にしながら、元気で笑顔あふれる楽しい保育室にしていきたいと思っております。

主任 福原恵美

家庭的な雰囲気を大切にして、子どもたちの成長を温かく見守り、笑顔あふれる楽しい保育室にしていきたいと思っております。

石田さち



## 支援者さんよりメッセージ



### 『おでかけわくわく map』

港区 子育て・家族支援者 相場奏子

バギーやトコトコ歩きのお子さんとのいろいろな所へのおでかけは楽しいですね。でもその時、エレベーターはどこ？ トイレは？ と困ったことはありませんか。そんなお子さんのお出かけに役立つマップがあったら…と、私たち11名のコンシェルジュが手作りしたマップ、それが『おでかけわくわく map』。

「お勧めの場所」を御紹介しながら、エレベーター、スロープ、トイレのある所、ちょっと便利な近道、子ども用の椅子のあるレストラン、この公園の楽しい遊具、あの図書館のいいところなどを、歩いて、聞いて、調べて、書いてみました。そして、やっと2冊完成。この他にも「お勧めの場所」は、まだまだ沢山あるはず。このマップのページがどんどん増えて、将来「あい・ぽーとの手作りマップ」が出来たら、なんて素敵だろう…今、そんなふうに思っています。



### 『保育ママの活動を通じて想い、千代田区家庭的保育室へ向けて応援メッセージ』

浦安市 家庭的保育者 田中眞砂子

千代田区の方が見学と実習にいらしたのは、まだ夏の暑い盛りの8月でした。子どもたちは知らない大人に緊張するかと覚悟もしていましたが、実習の日はすぐに打ち解けて、明るい笑顔をみせていたことが印象的でした。

聞けば千代田区からいらした方はみな様々に経験豊富で（私よりずっと）、子どもとの接し方にも余裕が感じられます。短い時間でしたが、いろいろなお話もさせていただきました。

現在の私の活動は、連携保育園での実習と、他自治体での家庭的保育実習がベースとなっています。今も連携保育園での交流保育などでは自分なりに「実習」と思い、勉強をさせていただいています。そして今回のような、他の自治体で活動をされている方と接するこんな機会も、いい勉強なのだと思えました。

浦安で家庭的保育事業が始まって2年目。私自身はまだまだ途上ですが、充実した毎日です。千代田区での事業も、皆さんの力で素晴らしいものになるよう、祈っております。

### 『こっこママ』

高浜市 子育て・家族支援者 小池由美子

高浜市が始めた家庭的保育こっこママの仕事を始めて10年余りが経ちました。おはようと朝の挨拶から始まり、子どもたちの元気な笑顔に癒される日々です。

当初は自分の子育てで経験で保育をしていましたが、「あい・ぽーとステーション」と「高浜市」のおかげで「子育て・家族支援者養成講座」を受講させてもらい、保育に必要な様々な視点から多くのことを勉強させていただきました。その結果、子どもに寄り添う保育だけでなく、心の発達・自立・環境構成などに対してもおおよそのねらいを付けて援助したり、親支援、スタッフ間での共通理解を心がけ、保育園にはない少人数の家庭的な雰囲気の中で、少しは質の高い保育サービスを提供できる様になったのではと自負しています。

保育園の待機の子どもの多いため入れ替わりもあり、その時々で替わる異年齢保育は時に難しいときもありますが、たとえば、個々の発達に合わせ遊びの中で心の発達・集中力を養う配慮や、年齢に合わせた安全な環境作りなど、これからもその日その時を、学んだことを活かし、積極的に対応していきたいと思っています。

## 【バックアップ研修開講予定】

### 〈港区〉

十一月二十六日(月)十五時～十六時三十分  
内容 子育て中の親への理解と虐待防止  
講師 金井剛(横浜市子ども青少年局担当部長  
中央児童相談所医師担当課長 児童精神科医)  
会場 子育てひろば「あい・ぽーと」二階ホール

十二月十八日(火)十時三十分～十二時  
内容 子どもとの安全と環境  
講師 遠山洋一  
(本法人理事  
バオバブ保育園ちいさな家園長)

会場 子育てひろば「あい・ぽーと」二階ホール

一月三十日(水)

〈三級対象〉十三時～十四時三十分  
〈二級対象〉十四時四十五分～十六時十五分  
内容 事例検討会  
講師 大日向雅美 (本法人代表理事  
恵泉女学園大学大学院教授)  
会場 子育てひろば「あい・ぽーと」二階ホール

### 〈千代田区〉

十二月十七日(月)十五時～十六時三十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向雅美  
(本法人代表理事  
恵泉女学園大学大学院教授)

会場 千代田区立児童家庭支援センター  
七階研修室



### 〈浦安市〉

#### 一般・家庭的保育者

十二月三日(月)十一時十分～十二時四十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向雅美  
(本法人代表理事  
恵泉女学園大学大学院教授)

会場 文化会館 第二練習室

十二月二十一日(金)十四時三十分～十六時  
内容 児童虐待  
講師 金井剛(横浜市子ども青少年局担当部長  
中央児童相談所医師担当課長 児童精神科医)

会場 文化会館 大会議室

#### 児童育成クラブ指導員

十二月四日(火)十時～十一時三十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 野中賢治  
(財団法人 児童健全育成推進財団  
企画調査室 室長)

会場 文化会館 第一会議室

### 〈高浜市〉

十一月二十七日(火)  
十三時四十五分～十五時四十五分  
内容 絵本の読み聞かせ  
講師 伊藤美佳  
(東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科学子  
ども支援学専攻講師)

会場 高浜市中央公民館



## 【子育て・家族支援者養成講座】

### ○開講中情報

現在、港区・千代田区・浦安市・高浜市で、子育て・家族支援者養成講座が開講されています。港区では三級講座、千代田区・浦安市では二級講座が開講されています。また、高浜市では、「家庭的保育事業ガイドライン」(※)の《基礎研修》の内容に該当する講座が開講されています。各自自治体、講座も終盤を迎え、まもなく子育て・家族支援者の新たな仲間の方々が誕生する予定です。認定後に活動やバックアップ研修等でお顔合わせする機会もあるかと存じます。よろしくお願ひ致します。

### ※「家庭的保育事業ガイドライン」

厚生労働省雇用均等・児童家庭局通知  
平成二十一年十月三十日

現在、家庭的保育事業(通称保育ママ)は、児童福祉法上に位置付けられている保育事業で、家庭的保育者の定義や研修について、ガイドラインで示されています。詳細は、インターネット等での検索も可能ですので、「参照下さい」。

(URL)

<http://www.houraimhw.go.jp/hourai/doc/tsuchi/TO91106ND010.pdf>

### ○新規開講情報

【港区】子育て・家族支援者養成講座

(二級十一期)

開講日 二〇二三年一月十八日(金)

三月十五日(金)

現在、申込を受け付けております。お知り合いで、「興味をお持ちの方がいらっしやいましたら、是非、「紹介下さい」。詳細な日程、申込方法等につきましては、事務局までご連絡下さい。

## 【ふれあいフェスタ】

今年もあい・ぽーとの創立記念イベントを開催できましたこと、心より感謝申し上げます。おかげさまで、あい・ぽーとは九周年を迎えることができました。そして、お誕生日を、利用会員の皆様とお祝いができ、とても良い一日でした。

今年度も、二階のホールは、ひろばのように賑わい、子育て・家族支援者さんの読み聞かせ「こもれび」、おもちゃの病院で大盛況でした。写真撮影も大人気で、終了時間を過ぎてもお待ちの方がいらっしやるほどでした。

「ご参加くださいました皆さま、ありがとうございました。」



## 【訃報】

子育て・家族支援者養成講座でお世話になりました、東京大学大学院教育学研究科 臨床心理学コース 中釜洋子教授におかれまして、病氣療養中のご平成二十四年九月二十八日に逝去されました。講座のお力添えに感謝申し上げますと共に心から「冥福をお祈り致します。」